

数 学 I

(全 問 必 答)

第 1 問 (配点 20)

[1]

(1) 不等式 $|2x + 1| \leq 3$ の解は $\boxed{\text{アイ}} \leq x \leq \boxed{\text{ウ}}$ である。

以下, a を自然数とする。

(2) 不等式

$$|2x + 1| \leq a \quad \dots\dots\dots \textcircled{1}$$

の解は $-\frac{\boxed{\text{エ}} - a}{\boxed{\text{オ}}} \leq x \leq \frac{-\boxed{\text{エ}} + a}{\boxed{\text{オ}}}$ である。

(3) 不等式①を満たす整数 x の個数を N とする。 $a = 3$ のとき,

$N = \boxed{\text{カ}}$ である。また, a が 4, 5, 6, … と増加するとき, N が初め

て $\boxed{\text{カ}}$ より大きくなるのは, $a = \boxed{\text{キ}}$ のときである。

(数学 I 第 1 問は次ページに続く。)

[2] a, b を実数として, 2 次方程式

$$(x - a)^2 + 4(x - a) + b = 0$$

を考える。

下の , には次の①~⑤のうちから当てはまるものを一つずつ選べ。ただし, 同じものを繰り返し選んでもよい。

① $>$ ② $<$ ③ \geq ④ \leq ⑤ $=$ ⑥ \neq

この 2 次方程式が異なる二つの実数解をもつ条件は

$$b \quad \text{} \quad \text{$$

が成立することである。その二つの解を s, t とすれば

$$b = \frac{\text{} - (s - t)^2}{\text{$$

である。さらに s, t がともに正となる条件は

$$a \quad \text{} \quad \text{} + \sqrt{\text{} - b}$$

が成立することである。

数学 I

第 2 問 (配点 25)

a, b を定数として 2 次関数

$$y = -x^2 + (2a + 4)x + b \quad \dots\dots\dots \textcircled{1}$$

について考える。関数 $\textcircled{1}$ のグラフ G の頂点の座標は

$$\left(a + \boxed{\text{ア}}, a^2 + \boxed{\text{イ}} a + b + \boxed{\text{ウ}} \right)$$

である。以下、この頂点が直線 $y = -4x - 1$ 上にあるとする。このとき、

$$b = -a^2 - \boxed{\text{エ}} a - \boxed{\text{オカ}}$$

である。

(数学 I 第 2 問は次ページに続く。)

- (1) グラフ G が x 軸と異なる 2 点で交わるような a の値の範囲は

$$a < \frac{\boxed{\text{キク}}}{\boxed{\text{ケ}}}$$

である。また、 G が x 軸の正の部分と負の部分の両方で交わるような a の値の範囲は

$$-\boxed{\text{コ}} - \sqrt{\boxed{\text{サ}}} < a < -\boxed{\text{コ}} + \sqrt{\boxed{\text{サ}}}$$

である。

- (2) 関数 ① の $0 \leq x \leq 4$ における最小値が -22 となるのは

$$a = \boxed{\text{シス}} \quad \text{または} \quad a = \boxed{\text{セ}}$$

のときである。また $a = \boxed{\text{セ}}$ のとき、関数 ① の $0 \leq x \leq 4$ における最大値は $\boxed{\text{ソタチ}}$ である。

一方、 $a = \boxed{\text{シス}}$ のときの ① のグラフを x 軸方向に $\boxed{\text{ツ}}$ 、 y 軸方向に

$\boxed{\text{テトナ}}$ だけ平行移動すると、 $a = \boxed{\text{セ}}$ のときのグラフと一致する。

数学 I

第 3 問 (配点 30)

$\triangle ABC$ において, $AB = 2$, $BC = \sqrt{7}$, $CA = \sqrt{3}$ とする。

このとき, $\angle BAC = \boxed{\text{アイ}}^\circ$ であるから

$$\sin \angle ABC = \frac{\sqrt{\boxed{\text{ウエ}}}}{\boxed{\text{オ}}}, \quad \cos \angle ABC = \frac{\boxed{\text{カ}} \sqrt{\boxed{\text{キ}}}}{\boxed{\text{ク}}}$$

である。

$\angle BAC$ の三等分線と辺 BC との交点を, 点 B に近い方から順に, 点 M , N とする。

(数学 I 第 3 問は次ページに続く。)

(1) $\triangle ABM$ において、点 M から辺 AB に垂線を引くと

$$\frac{\boxed{\text{ケ}}}{\boxed{\text{コ}}} AM = \frac{\sqrt{\boxed{\text{ウエ}}}}{\boxed{\text{オ}}} BM$$

であり

$$AB = \frac{\sqrt{\boxed{\text{サ}}}}{\boxed{\text{シ}}} AM + \frac{\boxed{\text{カ}} \sqrt{\boxed{\text{キ}}}}{\boxed{\text{ク}}} BM$$

である。よって

$$AM = \frac{\boxed{\text{ス}} \sqrt{\boxed{\text{セ}}}}{\boxed{\text{ソ}}}, \quad BM = \frac{\boxed{\text{タ}} \sqrt{\boxed{\text{チ}}}}{\boxed{\text{ツ}}}$$

である。

(2) $\triangle AMN$ と $\triangle ANC$ について、 $\triangle AMN$ の面積は $\frac{\sqrt{\boxed{\text{テ}}}}{\boxed{\text{ト}}} AN$ であり、

$\triangle ANC$ の面積は $\frac{\sqrt{\boxed{\text{ナ}}}}{\boxed{\text{ニ}}} AN$ である。

また、 $\triangle AMC$ の面積は $\frac{\boxed{\text{ヌ}} \sqrt{\boxed{\text{ネ}}}}{\boxed{\text{ノ}}}$ であるから、

$AN = \frac{\boxed{\text{ハ}}}{\boxed{\text{ヒ}}}$ である。

数学 I

第 4 問 (配点 25)

(1) a を正の実数とする。 $\frac{1}{4}a^2 + a + 1 = \left(\frac{1}{\boxed{\text{ア}}} a + 1 \right)^2$ であり、また

$$0 < a + 1 < \frac{1}{4}a^2 + a + 1$$

であるので

$$\sqrt{a+1} < \frac{1}{\boxed{\text{ア}}} a + 1 \quad \dots\dots\dots \text{①}$$

となる。

(2) 2次不等式 $\left(\frac{12}{25}a + 1 \right)^2 < a + 1$ を解くと、

$$0 < a < \frac{\boxed{\text{イウ}}}{\boxed{\text{エオカ}}} \text{ となる。よって、 } 0 < a < \frac{\boxed{\text{イウ}}}{\boxed{\text{エオカ}}} \text{ のとき}$$

$$\frac{12}{25}a + 1 < \sqrt{a+1} \quad \dots\dots\dots \text{②}$$

が成り立つ。

(数学 I 第 4 問は次ページに続く。)

(3) (1)と(2)の結果を用いて、 $\sqrt{17}$ のおよその値を求める。

$$\frac{\sqrt{17}}{4} = \sqrt{\frac{1}{\boxed{\text{キク}}} + 1} \text{ である。 } a = \frac{1}{\boxed{\text{キク}}} \text{ を ① に代入すると}$$

$$\frac{\sqrt{17}}{4} < \frac{\boxed{\text{ケコ}}}{\boxed{\text{サシ}}} \text{ となり、 ② に代入すると } \frac{\boxed{\text{スセソ}}}{\boxed{\text{タチツ}}} < \frac{\sqrt{17}}{4} \text{ となる。}$$

したがって

$$\frac{m}{200} < \sqrt{17} < \frac{m+1}{200} \quad \dots\dots\dots \text{ ③}$$

を満たす自然数 m は $\boxed{\text{テトナ}}$ である。③より $\sqrt{17}$ の小数第 3 位を四捨五入すると、4. $\boxed{\text{二ヌ}}$ となる。

数 学 I (100点満点)

問題番号 (配点)	解答記号	正 解	配点	問題番号 (配点)	解答記号	正 解	配点
第1問 (20)	アイ	-2	2	第3問 (30)	アイ	90	3
	ウ	1	2		$\frac{\sqrt{ウエ}}{オ}$	$\frac{\sqrt{21}}{7}$	3
	$\frac{-エ-a}{オ}$	$\frac{-1-a}{2}$	2		$\frac{カ\sqrt{キ}}{ク}$	$\frac{2\sqrt{7}}{7}$	3
	カ	4	1		$\frac{ケ}{コ}$	$\frac{1}{2}$	3
	キ	5	3		$\frac{\sqrt{サ}}{シ}$	$\frac{\sqrt{3}}{2}$	3
	ク, ケ	1, 4	3		$\frac{ス\sqrt{セ}}{ソ}$	$\frac{4\sqrt{3}}{5}$	3
	$\frac{コサ-(s-t)^2}{シ}$	$\frac{16-(s-t)^2}{4}$	3		$\frac{タ\sqrt{チ}}{ツ}$	$\frac{2\sqrt{7}}{5}$	3
	ス	0	2		$\frac{\sqrt{テ}}{ト}$	$\frac{\sqrt{3}}{5}$	2
	$セ+\sqrt{ソ-b}$	$2+\sqrt{4-b}$	2		$\frac{\sqrt{ナ}}{ニ}$	$\frac{\sqrt{3}}{4}$	2
第2問 (25)	$(a+ア, a^2+イa+b+ウ)$	$(a+2, a^2+4a+b+4)$	4	$\frac{ヌ\sqrt{ネ}}{ノ}$	$\frac{3\sqrt{3}}{5}$	2	
	$-a^2-エa-オカ$	$-a^2-8a-13$	3	ハ ヒ	$\frac{4}{3}$	3	
	$\frac{キク}{ケ}$	$\frac{-9}{4}$	3	$\frac{1}{ア}$	$\frac{1}{2}$	4	
	$-コ-\sqrt{サ}$	$-4-\sqrt{3}$	3	$\frac{イウ}{エオカ}$	$\frac{25}{144}$	5	
	シス	-3	2	$\frac{1}{キク}$	$\frac{1}{16}$	4	
	セ	1	2	$\frac{ケコ}{サシ}$	$\frac{33}{32}$	3	
	ソタチ	-13	4	$\frac{スセソ}{タチツ}$	$\frac{103}{100}$	3	
	ツ	4	2	テトナ	824	3	
テトナ	-16	2	ニヌ	12	3		
<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%; transform: rotate(-45deg);"></div>				第4問 (25)			